

県立高校入学者選抜学力検査の採点ミス事案に関する原因究明の徹底、責任の明確化及び再発防止の徹底を求める決議

県立高校入学者選抜学力検査の採点ミス事案を契機として、全校一斉の再点検を行った結果、新たに400件超の採点ミスが判明したことから、令和3年第1回定例会最終日に急ぎよ、文教警察委員会を開催し、事案の経緯や今後の対応などについて審査を行いました。その結果、委員会として、原因究明の徹底、責任の明確化及び再発防止の徹底を求める決議の発議を決定し、本会議において全会一致で可決されました。

○決議の主な内容

- ・ 今春の県立高校入学者選抜学力検査において、学力検査実施93校のうち53校408件の採点に誤りがあり、合否に影響があったの

- は3件で合格とすべきところを不合格としていたことが判明した。
- ・ 今後、ミスの詳しい原因を調べた上で、4月中に再発防止策を公表し、関係した教職員を処分することのことがだが、今回の事案は、生徒の将来を左右しかねない教育の根幹に関わるもので、決してあってはならないものであり、県民の信頼を回復するために透明性の高い対応が求められる。
- ・ よって、本県議会としては県教育委員会に対し、第三者を含む原因究明の徹底、責任の明確化及び採点業務の抜本的な見直しなどの再発防止策を策定の上、県議会への報告と県民への説明を強く求めるものである。

議員提案政策条例が成果を挙げています

茨城県議会では、この5年間(平成27年度から令和元年度まで)に9本の政策条例を議員提案で制定しており、全国でも2番目に多い実績となっています。直近で制定した5本の条例の、制定後の主な成果を紹介します。

- 1 手話言語の普及の促進に関する条例(平成30年第3回定例会で議決)**
- ・ 令和元年8月、手話言語条例制定記念フォーラムを実施。手話通訳者をさらに増やすため、市町村が養成した手話奉仕員を対象に「手話奉仕員スキルアップ講座」を開講。
 - ・ 令和2年5月15日、知事定例記者会見に手話通訳を導入。その他、水戸市などにおいても市長記者会見などに手話通訳を導入。

- 2 子どもを虐待から守る条例(平成30年第4回定例会で議決)**
- ・ 条例に基づき、令和2年3月、「茨城県子どもを虐待から守る基本計画」を策定し、令和6年度に達成すべき目標値を設定。

計画の主な指標	現状値(R元年度)	目標値(R6年度)
児童福祉司の数	83人	104人
児童心理司の数	38人	53人
一時保護専用施設の指定	0か所	5か所

- ・ 令和2年4月、中央児童相談所から、日立児童分室および鹿行児童分

室を児童相談所として独立させ、児童の一時保護など、現場での迅速な意思決定ができる体制を整備。

- 3 いじめの根絶を目指す条例(令和元年第4回定例会で議決)**
- ・ 令和2年4月、義務教育課に「生徒指導・いじめ対策推進室」を新設し、いじめ対策専任の職員を配置。
 - ・ 令和2年度「いじめ問題対策推進事業」を拡充し、SNS相談の開設日数を大幅増加。令和2年11月、県民を対象としたシンポジウムを開催。

- 4 主要農作物等種子条例(令和元年第4回定例会で議決)**
- ・ ①水稲うるち「ひたちIL3号」、②飼料用米「夢あおば」および「月の光」、③ペニバナインゲン「常陸大黒」を、新たに奨励品種に指定。
 - ・ 昨年度に続き、令和3年度予算(116,012千円)を確保し、優良な種子生産に取り組んでいる。

- 5 災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例(令和2年第4回定例会で議決)**
- ・ 令和3年度から「災害ボランティア活動支援基金」を設置し、災害ボランティアによる被災者支援活動の円滑化などに直結する事業に対して助成。

お知らせ

令和3年4月臨時会が4月28日に開催される予定です。また、令和3年第2回定例会は、6月1日から16日までの16日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議 事 予 定
6.1	火	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
2	水	休会(議案調査)
3	木	休会(議案調査)
4	金	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
5	土	
6	日	
7	月	本会議(一般質問・質疑)
8	火	本会議(一般質問・質疑、 議案常任委員会付託)
9	水	休会(委員会審査準備)
10	木	休会(常任委員会)
11	金	休会(常任委員会)
12	土	
13	日	
14	月	休会(調査特別委員会)
15	火	休会(議事整理)
16	水	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)

茨城県議会議席表(令和3年2月26日現在)

